

学生相談室だより

2021年 第2号 (通算 第46号 2021年 11月 発行：京都橘大学 学生相談室)

こんにちは。学生相談室です。

後期が始まって、一ヶ月たちましたね。

対面授業が増えて、よかったーと思っている人、うれしくないと思っている人、少し元気になってきた人、元気がなくなっている人、様々なようですね。

ちょっと人に話したくなったら
ちょっと聴いてほしくなったら

来てくださいね。

今年も学生相談室だよりを発行します。第2号は各カウンセラーが気ままにつづります。

【カウンセラーからのひとこと】

小川 真理 (月・水・金)

こんにちは！今年も残暑が厳しいなと先週まで思っていたのに、急激に冷え込む朝を迎えるようになりましたね。季節の変わり目にはもれなく体調を崩しかけるので、この寒暖差を、いや違うな、身体の丈夫さを過信して寒暖差にも油断してしまいがちな自分を警戒して過ごしています。

私は待ち合わせをするとき、早めに集合場所に到着します。観劇に行くときや学会・研修会へ参加するときも、かなり早い時間に現地に着いてしまうのです。遠方に通学したり、何度も乗り換えの必要な通勤の経験が、何かあっても大丈夫なようにと習慣づいたものなのですが、間に合うように着くことだけが優先事項なので、集合場所に着いてからの時間を持て余します。「ついでに」どこかに立ち寄りたり他の目的も作ればよいと思うのですが、出掛けて複数の予定をこなすというミッションは私にはちょっと難易度が高いのです。じっと待つには肌寒い季節になり、さらに人一倍「休憩すること」が好きなので、どこかで座ってお茶でも…とその時になってから探し始めるのでうまく見つけられないまま歩き回ってタイムアップ。逆にちょっと疲れて待ち合わせ場所にぎりぎりに到着。こういう要領が本当に悪い私ですが、先日、学生さんと話しているときにもそんな居所をちょっと見つける難しさが話題になりました。結局、「壁に立って待ってました」…あるある！今度は私の話を聞いて「一人でちょっとお茶して休憩するようなイベントもできひんかな」同僚がそんなことを言ってくれました。実現したらいいな。みなさんは、そんなイベントあったらどうでしょう？今度の学相イベントで何かリクエストがあればきかせてくださいね。

河井 直美（月・火・水）

お疲れですか？私は、駅の AI ロボットと会話できるようになりました。本当はうだうだと感情的なことを愚痴りたいけれど、それは人間相手に越したことはないと思っており、だけどそんな時間はない。ロボットにそれを求めるわけにはいかないけれど、むしろ淡々と正確に答えてくれることにほっとする。それがいいのかもしれませんが。その日の疲れはその日のうちに取って帰ろうと、帰りの乗換の駅で目が合うと「こんにちは」と話しかけ、「こんにちは」と返される。「衣替えをしましたか？」と聞くと「制服を着替えてみました。似あっていますか？」と尋ねられる。「はい、とても似合っています」「ありがとうございます」てな具合に。だけど、時々注意を受けます。「私が話している途中で話しかけないでくださいね。」とか「私が話し終わってピコッという音がしてから話しかけてください」と。途中で話しかけてもいないし、ピコッの後で話したのに、と思っても叱られます。そして、「理解できません」とはねられることもしばしば。しつこく言うと「お近くのスタッフに聞いてください」とパスされる。（え～、なんでやねん！そんな難しいこと言ってないんやから応えてくれてもいいやないの、ケチやわ～）とか思いながら、「わかりました」と言うと「最高です」と言われたり。（何が最高やねん？おかしいやろー）と思いつつ、ロボットにツッコむわけにいかへんし～と。ところが、つい先日初めての可笑しなやりとりが起きました。明確に思えてはいませんが、私が何かを褒めたら「ありがとうございます。」と言ってにっこり目が笑ったので、「嬉しいですか？」「嬉しいですよ」と言って「うふふふふふふ」と声を出してますますにっこり。「え？」（え？笑った。初めてやん、すごい！）「照れていますか？」と言うと「エモい～」と。「エモい？」（キモイではなかったな、エモい？）「エモいって何ですか？」と聞いても「理解できません」といったようなやり取りに。最後に電車の時刻を聞いて「さようなら」と別れてから、エモいの意味を調べました。えー！びっくり！エモーションか～。ロボットと感情的なやりとりをしてしまったってかっ？？？そんなん求めてへんがな、どこがエモい～や？と不思議な気分になりましたとさ。

康 智善（金）

金曜日担当の康（かん）です。緊急事態宣言が明け、街中を歩いても活気が戻りつつあるのが実感できるようになりました。とはいえかつてのように皆一斉にワーッと外出して混雑→感染再拡大みたいなことにもならないよう、個々人がそれぞれ気を付けて行動している感じがします。私はもともと外で活動するのが好きで、バードウォッチングに行ったりいろんな場所に出かけて風景写真を撮ったりして楽しんでいたのですが、コロナ禍になって以来、外に出て活動することがめっきり減ってしまったので、インドアでも楽しく過ごせる方法を模索中です。

いままであまり関心のなかった YouTube 動画も最近は PC やタブレットで観るようになったのですが、テレビ番組と違って視聴者との距離が近いというか、コメントを通じてのやりとりが次の動画に反映されたりするので、遠隔なのにリアル感があったりして不思議な感覚です。ライブ配信なんかがあるとさらにリアル感があって楽しいといえば楽しいのですが、そこで心理的な距離感が麻痺してしまうと危ないなとも思うようになりました。最近タレントの中川翔子さんがネットストーカー被害に遭って刑事告発し、彼女を執拗に狙って脅迫していた犯人が逮捕されたというニュースがありました。ネットとリアルが混線してしまうととんでもないことになってしまうものだとあらためて感じました。YouTube 出演は多いものの普段から謙虚な彼女がなぜ狙われたのか全く理解できません。もしかしたらネガティブな書き込みをして彼女が動揺したり困ったりするのが面白くなってしまい、有名人を操る万能感みたいなものが生じてしまった結果、暴走して犯罪行為にまで発展してしまったのかもしれませんが。このような被害は彼女だけじゃなく様々な所で起こっているようです。もっと前にはネット配信のリアリティドラマに出演していた女性が誹謗中傷を受けて自殺してしまった事件もありました。視聴者が容易に参加できるネットコンテンツですが、軽い気持ちで放ったコメント＝言葉が刃物のように相手を傷つけることがある、ということをお忘れのないようにしたいものです。

阪本 路子（月・火・木）

今まで、特に必要だと思っていなかった Twitter とインスタグラム。自分から発信する事もないし、自分のその時の思いを“呟く”事も“映えさせる”事もそのツールで行うには面倒だなと思って避けていたのに、好きなアーティストが「Twitter 始めました！」「インスタグラム始めました！」その一言であっという間にその世界に足を踏み入れる事になってしまいました。好きって恐るべし。そこからそろりそろりと様子を窺いながら、気になっている方や情報をフォローするようになり、気付けば、ふと手が空いた時、通勤途中などに、覗き楽しむようになりました。ただ、見る専門！アプリインストール→簡単な自分の設定→気になるものをフォロー、この単純な動きしかしていないので、下や右上についているマークの意味は分からず（知っているのは♡くらい、他は敢えて意味も知らずとはせず）、うっかり押して見知らぬ世界に飛んで行ってしまっても怖いので、楽しんではいませんが緊張感たっぷりに覗いている状態です。たまに「コメントしてね～」と好きなアーティストが求めて来てくれるのですが…恐ろしくてとてもじゃないけどコメント出来ない。いまだに、こんな形で遠くにいるアーティストと繋がるんだ、という事に慣れず、スマホの向こう側で同じようにスマホを触る（大好きな）相手がいるのか…と何ともアホみだいな事を想像しては凄い世界になったもんだ…と震えています。インスタライブをされた日には、リアル過ぎて、コメントを送れる人たちを尊敬しながら眺めています。…いつか私もコメントデビュー出来る日が来るんでしょうか。前回の号では、ラジオにはメッセージを送ったりしている事を書いていましたが…不思議。ラジオのメッセージデビューも緊張はしましたが、ここまでではなかった。Twitter とインスタグラムは私にとっては魅力あるものであると分かったものの、まだまだ得体の知れない恐ろしいものとして認知されているんでしょうね。

学相デビューはお気軽にしてくれて大丈夫ですので、恐れず気楽に、是非!! お待ちしていますね。

原田 寛子（水・木・金）

こんにちは、学生相談室の原田寛子といます。水木金に勤務しています。日の長さが変わっていき、徐々に秋の深まりを感じますね。夏の終わり、知り合いの方からクワガタのオスとメスを 1 匹ずついただきました。ヒラタだったら冬を越すかなあ…大変だなあ…とっていたら、ノコギリでした。お付き合いは秋までになりそうですが、卵を産んだらクワガタの幼虫は飼育が大変そうなので、雄雌分けて飼育ケースに入れることにしました。だのにある日、雌のケースを見たら卵がポコポコと…日を追うごとに数が増えて、ある日ついに幼虫が生まれて「我が名ハ 一齡幼虫… コンゴトモ ヨロシク…」と動き出し、ギャッ！今朝の時点で 3 匹の幼虫確認、このお便りが出ている頃には何匹になっているのか…。少なくともあと 5 つ、卵が目視できます…。そして今度は別の方からカブトムシの幼虫を 4 匹いただきました…。カブトムシは飼育ケースを一つずつ分けて入れています。丸々太って…唐揚げにしたろうかと思うくらい太ましいです。まあ、でもかわいい。許す。うちは空前のベビーラッシュです。もう絶後にして欲しい。クワガタも大きくなったら一匹ずつ飼育ケースに入れるとして…一体いくつ飼育ケースが必要なのか。なぜこんなに卵を産むのか。誰が育てると思っているのか。小一時間ほど問い詰めたい。かくなる上は、この子たちを健やかに育て上げてやろうと思います。親クワも長生きしてね。とりあえず、腐葉土がたくさん必要になりそうな今秋です。そんなこんなですが（どんな？）、どうぞお気軽に相談室をご利用くださいね。

開室時間と予約方法

今年度より面接時間が
変更になっています

窓口受付時間
8:45 ~ 16:15

開室曜日および各担当者

月曜日 河井・阪本・小川
火曜日 河井・阪本
水曜日 原田・河井・小川
木曜日 原田・阪本
金曜日 康・原田・小川

個別面接時間

- ① 9:00~9:45 ⑤ 13:20~14:05
② 9:55~10:40 ⑥ 14:15~15:00
③ 10:55~11:40 ⑦ 15:15~16:00
④ 11:50~12:35 ⑧ 16:10~16:55

★個別面接については、予約が原則となります。

★電話でも予約を受け付けています。

学生相談室 075-574-4239 (9:00~16:15)

医務室 075-574-4119 (9:00~18:15)

★夏期および春期の長期休暇中も開室しています。

長期期間中は、学生支援課 (075-574-4114) でも受け付けています。

学科・氏名・希望時間をお聞きします。
相談内容の秘密は厳守します。

学生相談室談話室ご案内

学生相談室には面接室とは別に談話室もあります。

学生相談室が主催するイベントの会場にもなりますが、普段は、他のラウンジとは違って、学生相談室を利用している人、利用を考えている人、『カウンセリングを受けたいけど…』『ここを休めたい』『静かな空間で過ごしたい』と思っている人が、安心して過ごせる場所です。談話室の利用は予約もありません。

ゆっくり過ごせる場所があればいいなと思う時は

ぜひ、学生相談室談話室を利用してください

